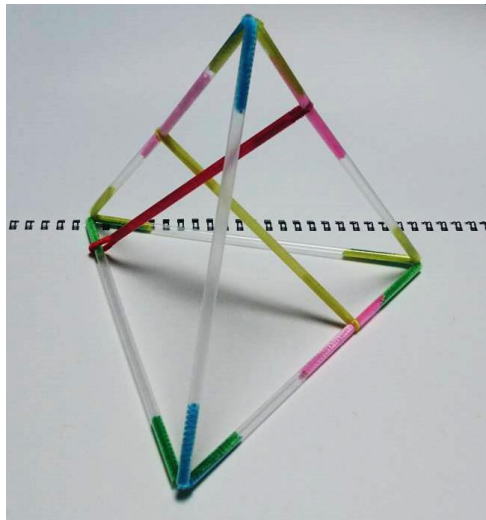


最近の教材事情 Ver. 4 ～ストローハウス改



第 110 回の数実研では大野先生が「yogeometry」と称して爪楊枝とグリースガンで立体図形を作られていました。自分も過去に「プラ板とセロテープ」や「アルミ管とジョイントパーツ」、「ストローとクリップ」などで図形を作ってきました。今回は「ストローとモール」です。

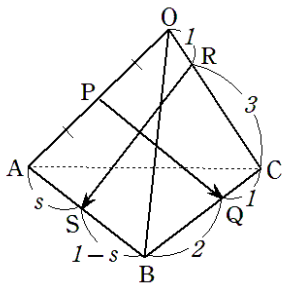
(書式は某レシピサイトのパロディとして見てもらえると幸いです)

材料・道具

ストロー (色、長さなどお好みで)	適量
モール	適量
はさみ・ペンチ・定規	

作り方

1



作りたい図形、問題を決めます。

2



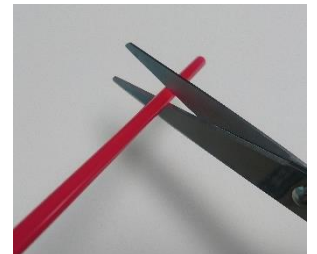
ストローを用意します。

3



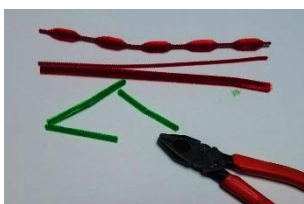
モールを用意します。

4



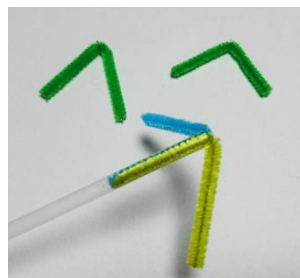
辺の長さに合わせてストローをカットします。長さが不明なところは長めに用意して後で調整します。

5



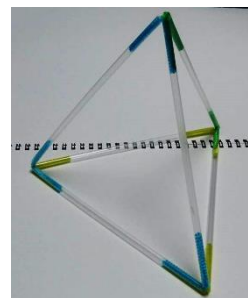
モールの長さを調整します。

6



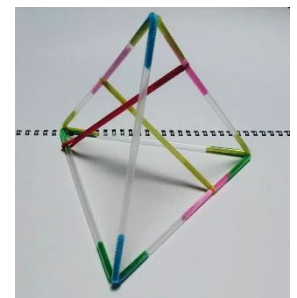
ジョイントにモールを組み込みます。

7



正多面体は簡単に作れます。

8



できあがり。

コツ・ポイント

モールとストローの太さをそろえた方が抜けづらく作業しやすくなります。ストローに差し込むモールは、長い方が安定するかも知れません。

この教材の生い立ち

この方法はインターネットで検索するとすで実践されている人や書籍も出ているのでご存じの方もいるかもしれませんが、比較的手軽な方法だと思いますので紹介します。